

今年度、新規に採用された先生方の紹介 その2

「生徒と向き合って」

小泉中学校 武田 晴香

中学校の教師として働き始めて、半年が過ぎました。多くの先生たちに支えられながら、生徒と学び続ける日々を送っています。まだ見通しをもって動くことができず、他の先生たちに付いて行くので精一杯ですが、学級の生徒と真剣に向き合っています。4月は時間に追われ、楽しいはずの給食が一番大変だと感じていました。しかし、今は学級も私自身も落ち着いて、楽しい給食の時間を過ごせるようになりました。以前は、自分のことに必死でなかなか気付けなかった細かい生徒の様子も少しずつ見えるようになり、教師として一歩ずつ成長しているように感じます。さらに、生徒に寄り添える教師になっていきたいです。これからも、他校の初任者や同僚の先生方の授業を見て学び続け、自分の課題と向き合っていきたいです。

「失敗しながら挑戦する1年に」

多治見中学校 塚本 康太

教員になって半年以上が経ちましたが、まだまだ慣れないことが多く、学級経営においても授業においても日々失敗の連続です。自分の指導に対して常に不安を抱き続ける中、先日担任しているクラスの生徒たちが僕の誕生日会を開いてくれました。その中で、生徒から「いつもありがとう」や「数学の授業分かりやすいです」というメッセージをもらい、生徒から支えられていることを実感しました。そして何より、私は周りの先生方にとっても支えられています。トラブルや困ったことが起こった時にいつも親身になって相談に乗ってくださいます。周りの支えのおかげで頑張ることができています。まずは今年度、失敗や経験からたくさん吸収しながら最後まで精一杯やり切りたいです。

「笑顔あふれる学校を目指して」

笠原小学校 森 知佳

講師として3年間中学校に勤務し、今年度から初めての小学校勤務となりました。最初は戸惑うことばかりでしたが、先生方や子どもたち、保護者の方々に支えていただきながら、充実した毎日を過ごしています。小学生と中学生では様々な面で異なることはありますが、育てていきたい力は同じであることに気が付きました。「自分の健康は自分で守る。」という力です。そんな力を育てるために、発達段階に合わせた声掛けをし、少しずつ子どもたちが自分でできることを増やしていけるよう、日々指導、支援にあたっています。また、「保健室を出る時には笑顔になれるように。」ということも心掛けています。日々様々な理由で来室する子がいます。どんな子どもでも、保健室を出る時には笑顔になり、その後の学校生活を楽しく過ごしてほしいと強く願っています。令和8年度からは義務教育学校になります。今までの経験を活かし、笑顔あふれる学校になるよう、今後も学び続けます。

お知らせ

令和6年度 第60回 土と版画展

期日：令和7年2月1日（土）～3日（月）

午前9時～午後5時まで

最終日は午前中のみ

場所：バロー文化ホール

市内の幼稚園・保育園、小中学校のみなさんが取り組んだ、土作品・版画作品の展示会です。ぜひご来場ください。